

清水商会 環境行動計画

平成23年 6月13日

取組方針

有限会社清水商会は、『日頃の小さな工夫の積み重ねが、大きな技術の改善につながる』ことをモットーに、顧客ニーズにあった建設工事や電化製品等の小売などを行っています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギー（太陽光発電システム導入とLED照明へ切换え）と省資源（紙使用量等の節減・節水）
- ② 建設工事部門、電化製品小売部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成23年 6月13日

有限会社 清水商会

代表取締役 坂室 正可

文書番号・文書名	制定日	H23年 6月13日	担当		
環境負荷の低減目標設定	改訂日	年 月 日			

低減目標についての基準年度は、いずれも平成22年度(平成22年4月1日~平成23年3月31日)平成23年度二酸化炭素の総排出量(平成23年4月1日~平成24年3月31日)は20%削減を目標とし、産業廃棄物、紙、水使用量の排出量削減目標は5%とする。

平成24年度二酸化炭素の総排出量(平成24年4月1日~平成25年3月31日)は10%削減を目標とし、産業廃棄物、紙、水使用量の排出量削減目標は5%とする。

目標1 二酸化炭素の総排出量削減/売上高当たりkg-CO₂/百万円

基準年 平成22年度 (H22年4月~H23年3月) 排出量(実績) 254 kg・CO ₂ /百万円	目標年1 平成23年度 (H23年4月~H24年3月) 排出量(目標値) 203.2 kg・CO ₂ /百万円	目標年2 平成24年度 (H24年4月~H25年3月) 排出量(目標値) 182.9 kg・CO ₂ /百万円
--	--	--

目標2 産業廃棄物の排出量削減/売上高当たり トン/百万円

基準年 平成22年度 (H22年4月~H23年3月) 排出量(実績) 0.10 t/百万円	目標年1 平成23年度 (H23年4月~H24年3月) 排出量(目標値) 0.095 t/百万円	目標年2 平成24年度 (H24年4月~H25年3月) 排出量(目標値) 0.090 t/百万円
---	--	--

目標3 紙の使用量削減/売上高当たりkg/百万円

基準年 平成22年度 (H22年4月~H23年3月) 使用量(実績) 1.46 kg/百万円	目標年1 平成23年度 (H23年4月~H24年3月) 使用量(目標値) 1.39 kg/百万円	目標年2 平成24年度 (H24年4月~H25年3月) 使用量(目標値) 1.32 kg/百万円
--	--	--

目標4 水使用量削減/売上高当たりkg・M³/百万円

基準年 平成22年度 (H22年4月~H23年3月) 使用量(実績) 0.49 M ³ /百万円	目標年1 平成23年度 (H23年4月~H24年3月) 使用量(目標値) 0.47 M ³ /百万円	目標年2 平成24年度 (H24年4月~H25年3月) 使用量(目標値) 0.45 M ³ /百万円
---	---	---

文書番号・文書名		制定日	H23年 6月13日	担当		
その他の資料 I 環境保全に向けた具体的な取組		改訂日	年 月 日			
<p>1. 二酸化炭素の総排出量削減</p> <p>(1) 太陽光発電システムを設置(新品)する</p> <p>自然エネルギーを導入することでCO₂発生を削減する</p> <p>1) 対象</p> <p>① 電化製品売り場(売り場面積126.2㎡、事務所14.4㎡)</p> <p>② 倉庫・作業場 250.95㎡(1F125.47㎡、2F125.48㎡ 鉄骨造 鉄板葺 2階建)</p> <p>2) 工事内容 太陽光発電システム シャープ製発電パネルND-153AU</p>						
区分	① 電化製品売り場	② 建設業工事作業場・材料倉庫				
① 設置場所	協同組合 高松ショッピングプラザ (店名アイ) 屋根	尚清水商会 敷地 工事作業場・材料倉庫屋根				
② 屋根	洋瓦屋根(南面)	本造2階建屋根(南面)				
③ 太陽光発電パネル設置総面積	23.6㎡	23.6㎡				
④ 太陽光発電容量	3.259KW	3.259KW				
⑤ 太陽光発電パネル	ND-153AU 20枚	ND-153AU 20枚				
⑥ パワーコンディショナ(直流を交流にする)	1台	1台				
⑦ カラー電力モニタ	1台	1台				
⑧ 年間予測発電量	3.294KWh (SHARPカタログ)	3.294KWh (SHARPカタログ)				
⑨ 用途	全部小売店舗内照明に使う	倉庫・作業場の照明や動力 余剰電力は売電する				
<p>(注) 蓄電池とスマートグリッド(smart grid 電力需給を自律的にコントロール)の導入は現在検討中</p>						

文書番号・文書名	制定日	H23年 6月13日	担当			
その他の資料 1-1 環境保全に向けた具体的な取組	改訂日	年 月 日				

(2) 電化製品売り場の蛍光灯を全てLED照明に切り換える

電力使用量を小さくしてCO₂発生を減少させる

直管形LED

本数	36本	2本(事務所部分)
消費電力	110形 50W (蛍光灯110W相当)	40形 21W (蛍光灯40W相当)
定格寿命	60,000h	60,000h
配光角	170°	170°
本体重量	640g	290g
口金	R17D	G13
単価	18,000円/本	9,300円/本

(3) エコドライブの推進

営業活動・事務部門

(1) アイドリングストップの実行

(2) カーエアコンはこまめに調節する

(3) 車両の点検整備、空気圧の点検
炎天下で駐車する時日よけをつける

(4) できるだけ共通方向への時は積荷を合同積荷で出発し、帰社においても同様とする
積み忘れをしないように出発前チェックを励行する

(5) 近い所は車から自転車にする

(6) 車から不要な荷物はおろす

(7) 遠出をしないなら満タンにしない

(8) 使わないルーフキャリアは外す

文書番号・文書名	制定日	H23年 6月13日	担当			
その他の資料 1-2 環境保全に向けた具体的な取組	改訂日	年 月 日				

2. 産業廃棄物の排出量削減

- (1) 廃棄物の分別仕訳を適確に行う。
- (2) 分別し、どの品目が多く排出されているか記録し、その原因は何かを調査することで排出量を削減させる。
- (2) 必要に応じ産業廃棄物の発生量が多いとき、日時、場所、発生原因を特定して写真に撮り、朝の打合せ会で検討し情報を皆で共有する。
- (4) 整理整頓に努めることで、全員が産業廃棄物を出来るだけ出さないような意識を持ってもらうようにする。
- (5) 産業廃棄物の発生を削減させるため、設計や作業手順、工程管理を常に工夫管理することで発生を出来るだけ少なくする。
- (6) 各自がダンボール、木材、梱包材等を無駄に廃棄しないで、資材節減に協力する。
- (7) 無駄な原材料、不要な資材を使っていないか研究する。(資材の合理的な節約使用を目指す)
- (8) 紙、ダンボール、ガラス、資材のリサイクルに協力する。
- (9) 資材の購入は、使用量を正しく管理し、計画的な経済的仕入量を仕入れする

3. 紙・コピー用紙削減

- (1) 紙は必ず両面使いを原則
- (2) トイレtpペーパー、ティッシュ等は再生紙
- (3) 電子データ化し、紙を使わないようにする
CDに対応した処理
CDに入れるので場所だけでなくデータ管理上もやりやすくなる。
- (4) 無駄なコピーをしないかよく考えてから、適切な枚数のコピーをする

文書番号・文書名	制定日	H23年 6月13日	担当			
その他の資料 1-3 環境保全に向けた具体的な取組	改訂日	年 月 日				

4. 水使用量削減

- (1) 水を流しっぱなしに使わない
- (2) 節水意識を皆で持ってもらう
- (3) 汚水は植栽用や畑に利用する
- (3) 節水型の洗濯機や水洗トイレを使う
- (5) 漏水がないか定期的にチェックする
- (6) 毎月水使用量を記録し、皆で検討する
- (7) 小水力発電について検討する

5. 5S (整理・整頓・清掃・清潔・躰) を徹底することで、企業の安全と発展をもたらす

(1) 導入の目的

- ① 仕事の基本である(安全衛生を高め、良好な売場環境や作業場環境を作る)
- ② 企業に安全と利益をもたらす(能率を高め、災害防止となる)
- ③ コスト削減を通じ環境負荷の削減に貢献する
- ④ 全員参加型で推進する

文書番号・文書名	制定日	H23年 6月13日	担当		
その他の資料 3 環境保全に向けた役割分担図	改訂日	年 月 日			

別紙 2 (環境負荷の低減や5S等目標達成のための組織)

当社の組織と役割分担

伊清水商会

会 長

社 長
(代表取締役)

取締役

取締役

技術職

技術職

技術職

打合せ会 (毎日実施することで、全員が情報を共有する)

教育 (勉強会)